

# 蓄電池産業戦略の基本的な考え方

## <これまでの政策の反省>

- これまでの蓄電池産業政策は、将来のゲームチェンジにも繋がると言われる全固体電池の技術開発に集中投資し、次世代技術で維持・拡大していくことが基本戦略だった。
- 他方、近年、政府の強力な支援を背景に、中国・韓国企業が液系リチウムイオン蓄電池(液系LiB)の技術で日本に追いつき、コスト面も含めて国際競争力で逆転。欧米含め世界的に官民で投資競争が激化。  
さらに、全固体電池についても、技術開発は進展しているものの、今後解決すべき課題も残存しており液系LiB市場は当面続く見込み。
- このままでは全固体電池の実用化に至る前に、日本企業は疲弊し、市場から撤退する可能性。車載用のみならず定置用蓄電池までも海外に頼らざるを得ない状況になる流れ。

## <今後の方向性>

- ➔ **【Step. 1】** 従来の戦略を見直し、我が国も民間のみに委ねず政府も上流資源の確保含め、液系LiBの生産基盤を強化するための大規模投資への支援を行う必要。
- ➔ **【Step. 2】** 国内で培った技術をベースに、グローバル市場でリードするプレイヤーが引き続き競争力を維持できるよう、海外進出策を積極的に展開し、グローバルアライアンスを戦略的に構築。
- ➔ **【Step. 3】** また、次のステップに繋がる全固体電池等次世代電池の技術にも投資し、市場を獲得。
- ➔ 併せて、人材育成、国内需要拡大の環境整備、リユース・リサイクル、再エネ供給と電力コストの抑制といった環境整備も進めていく。

# 蓄電池産業戦略の検討の方向性

## Step.1

液系LiBの生産基盤の確立

## Step.2

グローバルプレゼンスの確保

## Step.3

次世代電池市場の獲得

技術・ビジネス

### 国内製造基盤の確保

- 製造基盤確保 (R3補正1,000億円)
- 生産技術(DX、GX)の向上

### グローバルアライアンスの戦略的構築

- 市場を活用した資金調達、JBIC、NEXIによる政策金融、実証支援、等
- グローバル市場との制度的なハーモナイゼーション  
- CO2排出見える化や倫理的な材料調達の推進

### 実需に応じた更なる国内生産基盤の拡充に向けた政策パッケージ

### 上流資源の確保 (JOGMECの機能拡充等のリスクマネー強化)

### 定置用蓄電システム (BMS) の高度化に向けた対応

### 全固体電池・材料、リサイクル技術等の次世代技術開発 ⇒全固体電池に向けた生産体制の整備等

国内市場創造

### 国内市場の創造

- 電動車普及の環境整備 (R3補正375億インフラ整備、購入補助)
- 定置用蓄電池の普及促進 (導入補助、電事法改正による蓄電池の位置づけの明確化・安全性のさらなる確保)
- 他の用途の蓄電池 (船舶、航空機等) ・蓄電池関連サービスの拡大

環境整備

### 人材育成

### リユース・リサイクルの推進

### 再エネ供給の拡大と電力コストの抑制

## 今後のスケジュール

令和3年11月18日

第1回(蓄電池産業の現状と課題)

令和4年2月9日

第2回(生産基盤、上流資源、イノベーション・人材育成)

// 3月28日

第3回(制度・ルール・標準、需要拡大・国際展開、戦略の方向性)

// 4月末～5月前半

中間とりまとめ

// 夏頃

最終とりまとめ